

トライボロジ関連技術の企業内教育のご案内

●本教育の目的

各社におかれましては、新市場の創出・販路の拡大・コストダウンを図るための新技術・新製品・新生産方式の実現などに傾注されていることと存じます。これらの努力は、適正・確実な設計・製造による耐久品質を実現して始めて収益に結び付くことは十分承知されていると存じます。また、市場に出した製品が不幸にして破損するなどの不具合を生じた場合の技術的な対処の方法の重要性も承知されていると存じます。この問題に対処するには経験の積み重ねだけでなく、ものづくりの基盤である機械技術の基本を理解した上での技術と経験の伝承が重要と考えております。

各社におかれましても様々な工夫をされていると拝察致しますが、ベテランの減少、年齢構成、少ない時間的余裕などによる困難を抱えておられる企業も少なくないと拝察しております。日本機械学会関西支部シニア会には企業や研究機関で実践的な経験を積んだ技術者が登録しております。皆様方の要望に応じた講師とプログラムによる社内教育を実施させていただき所存です。

●本教育の特徴

- (1)企業と協議して合意した特定のカリキュラムに基づき、企業に出向いて行う教育です。
- (2)技術の基礎から応用に至るまで対応致します。講師が実際に体験した事例を紹介することで、理解を深めるように致します。
- (3)[カリキュラムの一例](#)を提示しますので、そのうちのどれにご関心があるか、ならびに企業の要望を伺いながら、カリキュラムと講師を決定させていただきます。

●教育実施までの手順

- (1)企業からシニア会に連絡

[お問合せフォーム](#)をクリックして Word ファイルをダウンロードし、必要事項をご記入のうえ関西支部 (info@kansai.jsme.or.jp) 宛て E-mail 添付、または郵送でご送付ください。

- (2)シニア会担当委員が対応（企業担当者に連絡）

- (3)企業担当者とシニア会担当委員で打合せ

- a. 社内教育カリキュラムを策定
- b. 教育プランの設定
 - ・期間：半日、1日、数回（週、月、年、短期間、長期間）など
 - ・形態：スポット的、シリーズなど(希望に沿って)

c. 教育の方法

- ・ パワポイント講義（資料は配布）
- ・ 計測、バランスなど実習を含めるか、など

d. 教育の対象

- ・ 集団、個人、など

(4)企業側に講師紹介

- ・ 企業特定カリキュラムに適切な講師（複数可）を選定
- ・ 企業に通知

(5)企業と講師で細目（場所、日時、費用など）設定

(6)費用について

費用は、1時間 1.5 万円を見込んでいますが、最終的には、企業と講師で協議して確定すべきものです。また、実習などを追加することも可能ですが、別途、時間と費用が必要です。これについても協議させていただきます。 この他、講師の交通費、会場使用費（備品を含む）は、企業側が用意することを前提としています。